

# KATE The 42<sup>nd</sup> ANNUAL CONVENTION in Tochigi

## 関東甲信越英語教育学会 第42回栃木研究大会

関東甲信越英語教育学会会長  
栃木研究大会実行委員長

斉田 智里 (横浜国立大学)  
大木 俊英 (白鷗大学)

2018年8月18日(土)・19日(日)の2日間、栃木県小山市の**白鷗大学**におきまして、関東甲信越英語教育学会第42回研究大会を開催いたします。小中高の英語教育に関わる全ての方のご参加をお待ちしております。

■期 日：2018(平成30)年8月18日(土)・19日(日)

■会 場：白鷗大学 新・本キャンパス  
〒323-8586 栃木県小山市駅東通り2-2-2

■主 催：関東甲信越英語教育学会 <http://www.kate-j.sakura.ne.jp/>  
学会事務局  
〒370-0033 群馬県高崎市中大類町58-2  
高崎健康福祉大学 人間発達学部 嶋田 和成 研究室内  
E-mail : kate2018office@gmail.com

■共 催：白鷗大学

■後 援：栃木県教育委員会 小山市教育委員会  
栃木県小学校教育研究会 栃木県中学校教育研究会  
栃木県高等学校教育研究会

■本大会に関する問い合わせ先  
第42回栃木研究大会事務局  
〒323-8585 栃木県小山市大行寺1117  
白鷗大学 教育学部 奥山 慶洋 研究室内  
E-mail : kate2018tochigi@gmail.com

KANTOKOSHINETSU ASSOCIATION OF TEACHERS OF ENGLISH  
Informative, Innovative, Imaginative, and Interactive

Aug. 18-19, 2018

## 関東甲信越英語教育学会第42回栃木研究大会プログラム一覧

■プログラムは通し番号で示されています。同じ番号のプログラムは、同時進行で開催します。

■展示会場では大会開催期間、協賛企業による展示が随時行われています。

8月18日（土）		
11:30 - 12:30	理事会・受付	企業 展 示
12:30 - 12:50	開会行事	
13:00 - 15:30	1 自由研究発表・実践報告（4枠）	
15:30 - 15:50	休憩	
15:50 - 17:30	2 講演「ニューラル機械翻訳の英語教育への活用法を考える」	
17:50 - 19:20	3 懇親会	

8月19日（日）			
9:30 - 10:00	受付		企業 展 示
10:00 - 11:10	4 自由研究発表・実践報告（2枠）		
11:15 - 11:45	5-A 総会	5-B	
11:45 - 12:30	昼食（学会各委員会・事務局合同会議）	学生昼食会（11:20 - 12:30）	
12:30 - 13:40	6 自由研究発表・実践報告（2枠）		
13:40 - 14:00	休憩		
14:00 - 15:10	7-A 委員会企画（学会誌委員会） 「KATE Journal」における査読プロセス： 査読者と投稿者の立場から」	7-B ワークショップ（中学校） 「自分の言葉で発信する力を育む リテリング活動の実践 ～教員ネットワークの活用を通じて～」	
15:10 - 15:30	休憩		
15:30 - 16:40	8-A ワークショップ（小学校） 「小学校外国語教育のための活動・ 評価・研修の実際 ～多角的観点からの 小学校英語ワークショップ～」	8-B ワークショップ（高校） 「Let's enjoy the English debate!! ～英語ディベート活動の実際～」	
16:40 - 16:50	閉会行事		

### 大会参加・各種発表・懇親会のお申込方法、他

『発表要綱（冊子）』は大会当日の受付において直接配付します。冊子は事前の大会参加申込みに合わせて準備します。したがって、参加を希望される会員の皆さまはウェブサイトでの大会参加申込みを必ず行い、下記の要領で事前にお支払いをお済ませ下さい。自由研究発表・実践報告を申し込まれた方も大会参加の手続きが必要となります。なお、これまでの冊子体送付に代えまして、『発表要綱（PDF版）』を大会前に公開します。公開方法等につきましては、会員メーリングリスト、学会ウェブサイト等によりお知らせします。

### 大会参加

■参加資格：関東甲信越英語教育学会の会員、英語教育に従事する方、英語教育に関心を持っている方  
 ■参加費：①関東甲信越英語教育学会会員（2018年度会費を7月31日までに納入してください）は、事前申込1,000円（当日2,000円）です。非会員は事前申込2,500円（当日3,000円）です。学生は事前申込1,000円（当日2,000円）です。  
 ②郵便振替用紙（払込取扱票）1枚をご利用いただき、次の関東甲信越英語教育学会の口座にご入金ください（クレジットカードでのご入金はできません。また、ご入金いただいた後のご返金は理由のいかんにかかわらずできません）。  
**振替口座記号・番号：00180-0-514575 加入者名：関東甲信越英語教育学会** ③振替用紙の半券を領収証とさせていただきます。別途、関東甲信越英語教育学会が発行する領収証が必要な方は、事前申し込みの際にウェブサイト内で申請していただくか、あるいは大会当日に受付まで半券をお持ちいただければ、そこで領収証を発行いたします。  
 ④振込状況の確認に1週間から10日間ほど時間を要しますので、振込期限を過ぎてからのお振込みは原則おやめください。万が一期限を過ぎてから振り込みをされた場合は、大会当日必ず半券をご持参ください。半券の確認ができない場合は、当日に参加費をお支払いいただく可能性もございます。  
 ■参加申込：事前のお申し込みは、**7月31日（火）まで**受け付けます。お申し込みは、次のウェブサイトで行ってください。<http://www.kate-j.sakura.ne.jp/> 当日も参加申し込みをお受けしますが、『発表要綱（冊子）』については事前に参加申込みを行っていただいた申込者数に合わせて準備しますので、お渡しできない場合があります。また、事前にお申し込みいただくと、受付手続きもスムーズに済みますので、ぜひ上記の期間中にお申し込み・お支払の上ご参加いただけますようご協力をお願いいたします。

### 自由研究発表・実践報告

- 自由研究発表・実践報告 時間：発表 20分、質疑応答 10分 とします。（今年度はポスター発表はありません。）
- 発表資格：2018年 5月 31日（木）までに2018年度の会費を納入済みの方。共同発表者も同じ。入会手続きは次のウェブサイトで行ってください。 <http://www.kate-j.sakura.ne.jp/> 発表数は筆頭著者として1件まで、それ以外を含めて最大2件までです。
- 研究発表の申込と『発表要綱』の原稿の送付：①自由研究発表・実践報告の申込と『発表要綱』の原稿の送付は、2018年6月1日（金）から6月12日（火）までに次のウェブサイトの指示に従い、指定アドレスにお送りください。 <http://www.kate-j.sakura.ne.jp/> ②発表受付期間終了後に5月31日までに会費を納入されていないことが判明した場合、いったん受け付けましたお申込みを取り消させていただきます。十分ご注意ください。③『発表要綱』の原稿を担当で審査し、修正のお願いをすることもあります。発表が認められない等の場合は7月10日（火）までにご連絡します。
- ④発表日、時間、順番に関しては、学会担当にご一任ください。

### 講演 15:50 ~ 17:30

- 日 時：2018年8月18日（土）15:50~17:30 ■場 所：700教室
- テ ー マ：「ニューラル機械翻訳の英語教育への活用法を考える」
- 講演者：永田昌明（NTT コミュニケーション科学基礎研究所）
- Google、Microsoft 等が提供する Web 上の機械翻訳サービスが2016年の秋頃から急に賢くなったことにお気づきの方は多いと思う。技術者である私の感覚では、今の機械翻訳は普通の高校生（少なくとも高校生の頃の私）よりも英作文が上手である。2014年前後に誕生したニューラル機械翻訳と呼ばれる新しい機械翻訳技術は、それまで主流だった統計的機械翻訳を精度で大きく上回り、わずか3年で実用化された。ところが、この機械翻訳技術は、母語話者並みに流暢な訳文を生成するが、原文の意味を忠実に再現しないことが結構あるという少し困った性質を持っている。本講演では、現在のニューラル機械翻訳にできること（例えば流暢な文の生成）、できないこと（例えば文脈の考慮）を紹介し、この技術を英語教育に活用する方法や、技術の進歩によって英語教育の社会的役割がどう変わるかについて考える。

### 懇親会

- 日 時：2018年8月18日（土）17:50~19:20 ■場 所：白鷗大学 新・本キャンパス1階 かもめ食堂
- 参加費：4,000円 ■参加申込：大会参加申込と同時に学会ウェブサイトでご予約ください。代金は大会参加費と合わせて、郵便振替用紙にて関東甲信越英語教育学会の上記（p. 2）の口座にご入金願います。ご入金後の返金は、理由のいかんにかかわらずいたしかねます。

### 総会

- 日 時：2018年8月19日（日）11:15~11:45 ■場 所：700教室
- 関東甲信越英語教育学会の事業報告、今後の事業方針、人事、決算・予算などを議決します。会員の方は万障お繰り合わせの上、ご出席ください。

### 委員会企画（学会誌委員会）

- 日 時：2018年8月19日（日）14:00~15:10 ■場 所：603教室
- テ ー マ：「KATE Journalにおける査読プロセス：査読者と投稿者の立場から」
- コーディネーター兼発表者：星野由子（秀明大学）
- 発表者：廣森友人（明治大学）、小泉利恵（順天堂大学）、木澤利英子（駒沢女子大学）
- 本学会では年に1回 KATE Journal が発行されており、2017年度で第32号を迎えた。本学会の第一次査読結果の通知には「採択」「条件付き採択」「再審査」「不採択」という4段階がある。「再審査」があることにより、投稿者にとっては査読者からのアドバイスを受け取ってそれを元書き直すという機会が与えられている。本企画では、第29号以降に査読者を行った先生と、実際に KATE Journal に大学院生として複数の論文を投稿・掲載した方それぞれの立場から、この査読システムの使われ方について意見交換し、より良い査読システムのあり方について討議したい。

### ワークショップ（中学校）

- 日 時：2018年8月19日（日）14:00~15:10 ■場 所：604教室
- コーディネーター：齋藤真樹（栃木県小山市教育委員会） ■発表者：大村宜大（栃木県小山市立小山第二中学校）、釜井祐美枝（栃木県小山市立大谷中学校）、古川彩乃（栃木県栃木市立大平南中学校）
- テ ー マ：「自分の言葉で発信する力を育むリテリング活動の実践～教員ネットワークの活用を通じて～」
- 私たちは「下都賀の英語を考える会」という英語教育研究会に所属している。その中で若手教員が中心になり、今回の研究を進めてきた。テーマ設定の理由は、「とにかく英語に対して積極的で、意欲的に自ら話す生徒を育てたい」という研究メンバーの思いがあったためである。そして、そうした力を育む手段の一つとしてリテリングを選んだ。今回の発表に向けて、研究会の場を定期的に設け教材の共有や報告会などを重ねてきた。今回は、英語教授法のみならず、そうした教員ネットワークの活用に関しても発表していきたい。

## ワークショップ (小学校)

- 日 時：2018年8月19日 (日) 15:30～16:40 ■場 所：603教室  
■テ ー マ：「小学校外国語教育のための活動・評価・研修の実際—多角的観点からの小学校英語ワークショップ—」  
■コーディネーター：山野有紀 (宇都宮大学) ■発表者：谷光生 (宇都宮大学), 鈴木久子 (栃木県日光市教育委員会), 宮田一士 (栃木県日光市立大沢小学校), 一柳啓子 (栃木県益子町立田野小学校)  
■本ワークショップでは、多角的観点から新学習指導要領にもとづく小学校英語教育について考える。具体的には、小学校外国語教育における実践と評価の実際、さらに英語学の観点からの小学校英語研修について紹介する。現職の小学校教員と教育委員会指導主事、英語学と英語教育の大学教員の協同により、小学校外国語教育について考える、統合的ワークショップである。

## ワークショップ (高等学校)

- 日 時：2018年8月19日 (日) 15:30～16:40 ■場 所：604教室  
■テ ー マ：「Let's enjoy the English debate!! ～英語ディベート活動の実際～」  
■コーディネーター：斎藤明宏 (白鷗大学) ■発表者：野城充生 (栃木県立佐野高等学校), 大嶋浩行 (栃木県立佐野高等学校)  
■英語の言語活動の中でも難易度が高いものの一つとされるディベート活動の授業の実際を体験していただく。本校が1年生を中心に行っている、1チーム3人 (または2人) 制で1人1役 (立論, アタック, ディフェンス) を担当するシンプルスタイルである「簡易型」をまず紹介し、時間があれば発展型のディベートである「PDA (パラメンタリーディベート人材育成協会) 型」の紹介及び体験も行いたい。フォーマットと定型表現を紹介することで生徒には型を意識させ、パターンプラクティス化することで高度と言われる活動を実践可能にしている。

## 宿泊案内

JR 小山駅周辺にホテルが数軒ありますので、各自で早めにお申し込みください (学会による宿泊手配は行っておりません)。

## 会場での昼食

昼食の販売はありません。キャンパス1階のセブンイレブン、または JR 小山駅周辺のコンビニエンスストアや飲食店をご利用ください。

## 託児所開設について

託児所を用意しますので、ご利用の方は学会ウェブサイトにて6月12日 (火) までに事前に申し込みをお願いいたします。

## 白鷗大学へのアクセス

大会会場は JR 小山駅東口の正面にあります。お車でお越しの方が駐車できるスペースは学内にありませんので、駅周辺のコインパーキングをご利用ください。なお、コインパーキングの紹介や駐車代の補助は行っておりませんので予めご了承ください。



## 新・本キャンパス周辺マップ



白鷗大学新・本キャンパスには、駐車スペースはありません。公共交通機関をご利用ください。  
やむを得ず車で来られる場合は、大学周辺の駐車場 (有料) をご利用ください。